

2026年9月1日

各 位

碧海信用金庫

東海レジックス株式会社との
「へきしんサステナビリティ・リンク・ローン」の契約締結について

碧海信用金庫（理事長：深谷 誠）は、東海レジックス株式会社（代表取締役：新川 昌）と、「へきしんサステナビリティ・リンク・ローン（以下：へきしんSLL）」の契約を締結いたしましたので、お知らせします。

本商品を通じてお客さまの脱炭素経営に係る取り組みをご支援することで、お客さまと共に持続可能な地域社会の実現を目指してまいります。

記

1. 「へきしんSLL」について

本商品は、お客さまがサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（SPTs）として設定したCO₂排出量削減に関する挑戦目標の達成状況と融資条件が連動し、目標達成時には金利の引き下げを行う融資商品です。

信金中央金庫の組成サポートを活用し、当金庫が策定した本フレームワークは、国際的な原則やガイドラインに適合していることを、株式会社格付投資情報センター（R&I）より第三者評価を受けております。

2. 契約締結先

会 社 名：東海レジックス株式会社

所 在 地：名古屋市港区当知町堤外 598-24

代 表 者：新川 昌

事業内容：塗床工事、下地処理、コンクリート研磨工事、左官・土間工事、防水工事等

3. 契約内容

実 行 日：2026年8月31日

期 間：10年

融資金額：非公表

以 上

東海レジックス株式会社 サステナビリティ・リンク・ローン概要

【東海レジックス株式会社の概要】



<https://www.tokai-resix.com>



- ・東海レジックス株式会社（以下：当社）は令和２年３月に設立した床工事業者。
- ・当社の「３Ｋ」。「綺麗」で「強靱」な「感動」する床を実現するために用途別に合わせた最適な塗料、工法を提案し、理想的な「床」を創り上げる。
- ・主に工場や倉庫、事務所の床工事を施している。実用性だけでなく、時代に合わせて見た目にも拘る施工にも着手し、業務の幅を広げている。

<当社の主な事業領域>

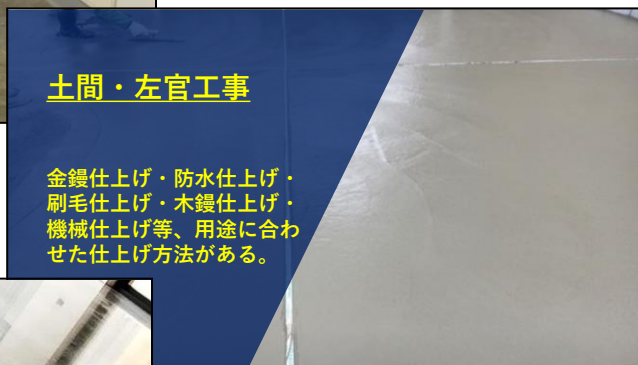
塗床工事

用途に合わせて耐久性・耐荷重性・耐衝撃性・耐候性を発揮。



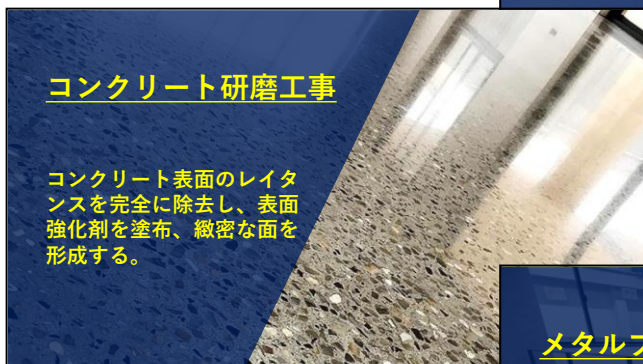
土間・左官工事

金鍍仕上げ・防水仕上げ・刷毛仕上げ・木鍍仕上げ・機械仕上げ等、用途に合わせた仕上げ方法がある。



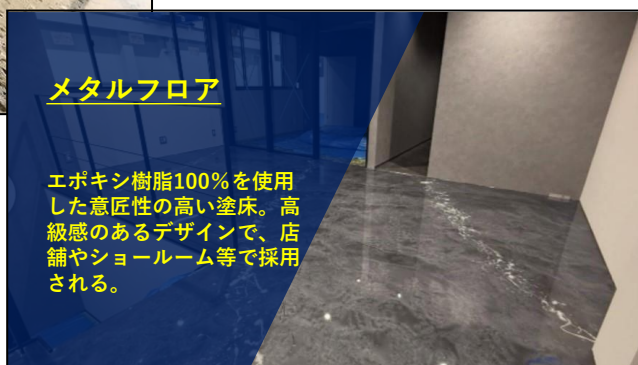
コンクリート研磨工事

コンクリート表面のレイタンスを完全に除去し、表面強化剤を塗布、緻密な面を形成する。



メタルフロア

エポキシ樹脂100%を使用した意匠性の高い塗床。高級感のあるデザインで、店舗やショールーム等で採用される。



<当社のサステナビリティ>

当社では、持続可能な社会を実現するため、下記の取り組みを実践している。

-  床工事を通したカーボンニュートラルへの貢献
塗床の工法によって工場内の照度を高めたり、遮熱工事による空調効率のアップなど、顧客の脱炭素経営に資する提案も行っている。
-  高効率設備の導入
工場等の床工事を行う上で、研磨機や研削機の高効率化や自動化を推進し、現場における稼働時間の短縮に努め、従業員の働き方改革に繋がっている。
-  CO₂フリー電力の活用
CO₂フリー電力を活用することで、間接的に当社のCO₂排出量を削減し、カーボンニュートラルに貢献する。

<当社スナップ>



【サステナビリティ・リンク・ローンのサマリ】

- ・設定したK P Iは当社におけるC O₂排出量（Scope1、Scope2）の削減率。
- ・設定したS P T sは2025年8月31日（2024年度）を基準日とする対比により、2036年8月31日（2035年度）にC O₂排出量の削減率29.7%を達成する。
- ・基準日以降、毎年次にC O₂排出量の削減率を公表し、初回判定は2027年8月31日（2026年度）に行う。

SPTsの目標値						
基準日（yyyy/m/d）	2025/8/31		基準日時点排出量（単位：t-CO ₂ ）			50.26
融資実行日の応当月末	2027/8/31	2028/8/31	2029/8/31	2030/8/31	2031/8/31	2032/8/31
基準日比削減率（%）	2.7	5.4	8.1	10.8	13.8	16.8
融資実行日の応当月末	2033/8/31	2034/8/31	2035/8/31	2036/8/31		
基準日比削減率（%）	19.8	23	26.3	29.7		

【S P T sの野心性】

- ・当社の目標はScope1、Scope2のC O₂排出量において、国のNDCを超える目標であり、野心性あるものと判断する。
- ・当社自身のトラックレコードと比較しても、今後更なる削減が必要な目標であり、野心性が認められる。

【S P T s達成手段】

- ・Scope1については、営業車両及び現場車両の電動化・ディーゼル化、営業範囲の効率化を随時推進する。
- ・Scope2については、C O₂フリー電力を活用することで、脱炭素化を推進する。

【S P T sの妥当性】

- ・碧海信用金庫は当社から開示を受けた各種資料のほか、当社との対話によるS P T sの妥当性について検証した結果、へきしんS L LのC O₂排出量削減率の基準を満たすものと判断できる。

以 上